

## 改訂版に記載する項目（案）

### はじめに

- (1)経緯
- (2)戦略的対応を行う理由
- (3)目的（何を解決すべきか）

### 内分泌攪乱化学物質問題の現状

- 1．基礎科学分野
  - (1)内分泌攪乱化学物質の定義
  - (2)作用メカニズム等
  - (3)スクリーニング・試験法
- 2．有害性評価
  - (1)ヒトの健康への影響に関する報告例及び評価
  - (2)野生生物への影響に関する報告例及び評価
- 3．曝露

### 対応状況と今後の方向性

- 1．基本的な考え方
- 2．対応状況と今後の方向性
  - (1)基礎的研究の推進
  - (2)影響評価のための技術開発の推進
  - (3)有害性評価・曝露評価・環境リスク評価の推進
  - (4)環境リスク管理・コミュニケーションの推進
  - (5)取り組みに当たって配慮すべき事項

### 付属資料

内分泌攪乱化学物質問題に関する年次経過  
世界の取組の動向  
これまでの調査結果  
化学物質検討フロー図  
参考文献  
委員名簿